

—編集後記—

先月9月の、台風21号および北海道胆振東部地震の被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。

私自身自然災害の怖さを痛感したのは、東日本大震災でした。地元が東北地方であり、幼少時に訪れた祖母の実家と周囲が津波により更地に成り果てた姿を見て、衝撃のあまり言葉が出なかったことは今でも忘れられません。大震災以降も国内では東日本豪雨や熊本地震、西日本集中豪雨など、大規模といえる災害が起こり、被災地は交通網が寸断され、停電などによりライフラインの供給が途絶えてしまうこともありました。このような災害が起こるたび、私に何かできることはないか、家族や知人を守るために何をすればいいのか、模索したことを覚えています。

しかしながら、日本一安全な県とされる埼玉県に居を構える自分にとって、防災意識はありながらも慢心からか、対策はいつも後回しになる傾向があり“今こそやらねば”と思っていたところ“防災士”という資格があることを知りました。防災士は“自助・共助・協働”を理念として活動しており、“自助”というのが自分の命・安全は自分で守るというものでした。結局、自分が活動不能となつては誰も助けられません。また自助を遂行するために災害前準備は極めて重要とのことです。防災士が推奨するものには、缶詰や水・食品用ラップ・ウェットティッシュ・保温アルミシート・手回し充電ラジオ・ソーラーつき充電器・簡易トイレなどがあり、アウトドアに出かける時とほぼ変わらない準備ができていれば、いつ災害が起こっても十分対応できるわけで、わが家でも防災の初歩として準備してみようかと考えています。

今後も国内で災害が起こることを想定して、防災準備を怠らないようにと強く心に誓いました。そして間があれば防災士資格にトライしてみようと思う、今日この頃です。
(麦と葵)

表紙の解説

「NEGI DOG ネギにすべてを。」

(一部修正)

写真提供 豊留 章裕 氏

埼玉放射線 第254号

印刷 平成30年10月12日
発行日 平成30年10月18日
発行所 〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-51-39
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
Eメールアドレス
sart@beige.ocn.ne.jp
発行人 公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏
編集代表 八木沢 英樹
編集委員 清水 邦昭 大友 哲也 吉田 敦
宮崎 雄二 豊留 章裕 潮田 陽一
渡部 伸樹 堀越 隆之 肥沼 武司
表紙デザイン：肥沼 武司
印刷 〒338-0007 さいたま市中央区円阿弥5-8-36
望月印刷株式会社
電話 048-840-2111

事務所

〒331-0812
さいたま市北区宮原町2丁目51番39
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
電話 048-664-2728 FAX 048-664-2733
Eメールアドレス sart@beige.ocn.ne.jp

事務局長 渡辺 弘
事務員 植松 敏江
勤務時間 9:00~12:00
13:00~15:00